

# ガスふろ給湯器

取扱説明書 保証書付

## 特定保守製品

	品名	型式名	号数
自動	GN-A2000AE-1B	GN-A2000AE	20号

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』に指定された**特定保守製品**です。(→P.31)

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

この取扱説明書では、FC-660A-W・MC-660A-W・SC-660のリモコンについて説明しています。記載以外のリモコンをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

### もくじ

	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	7
ご利用前の準備	9
機器の準備	9
現在時刻を合わせる	10
お湯を使うには	11
お湯を使用する	11
優先切替について	12
自動でおふろを沸かすには	13
ふろ自動運転をする	13
沸かし直しをするには	14
ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには	15
ふろ温度の設定	15
保温時間の設定	15
ふろ水位の設定	16
音量を変更するには	17
音量の設定	17
おふろのお湯を熱くするには	18
追いだき運転をする	18
おふろのお湯をぬるくするには	19
ぬるく運転をする	19
おふろのお湯を増やしたいときには	20
たし湯運転をする	20
おふろが沸く時刻を予約するには	21
予約運転をする	21
省電力機能について	23
省電力モードの解除	23
省電力モードの設定	23
知っている便利な機能	24
手動配管クリーンをする	24
ポンプ運転をする	25
機能の設定を変更する	26
ふろ待機設定をする	26
冬期の凍結予防をするには	27
凍結予防装置による方法	27
給湯栓の水を流す方法	27
機器の水を抜く方法	28
再使用する時	29
凍結してしまったとき	30
長期使用製品安全点検制度	31
点検のポイント・お手入れのしかた	33
点検のポイント(月1回程度)	33
お手入れのしかた(月1回程度)	33
給気フィルターの掃除(こまめに掃除)	34
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	34
給水口フィルターの掃除	35
点検・お手入れ後の確認	35
定期点検のおすすめ(有料)	35
故障かな?と思ったら	36
アフターサービスについて	39
仕様一覧	40
保証書	裏表紙

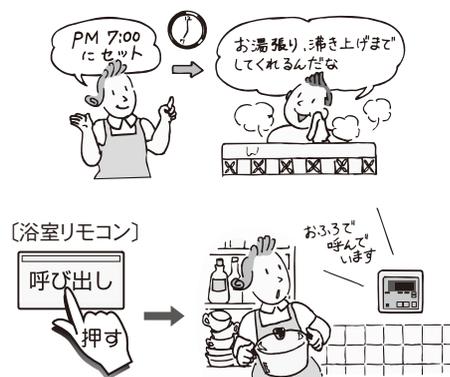
ご利用の前に

使い方

長くお使いいただくために

## 便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。(→P.13)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。(→P.21)
- 浴室から台所や他の部屋にいる人を、呼び出すことができます。



## 快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。いつも快適なお風呂です。(→P.13)
- ふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。新しいお湯約6リットルを流して浴槽の循環口から排出します。(→P.24)

※ふろ配管内の残り湯を流し出す際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。



## 環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。(→P.23)
- 残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。(→P.25)  
※浴槽の循環口の種類によって利用できない場合があります。

ポンプ運転時にホースをつなげて利用できます	
	
水道ホース差込型 (TP-S52タイプ)	水道ホース差込型 (TP-S150タイプ)

# 安全に正しくお使いいただくために

## ■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

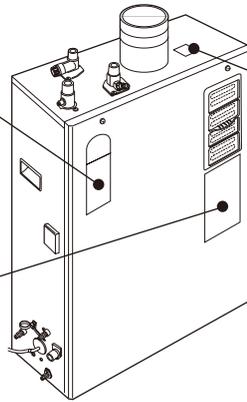
 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P.XX)	参照ページを示しています。
 “XXXX”	リモコンから流れる音声を示しています。

## ■機器本体の表示について

### 銘板 特定保守製品

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

### 使用上の注意



### やけど注意

- 排気筒や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。



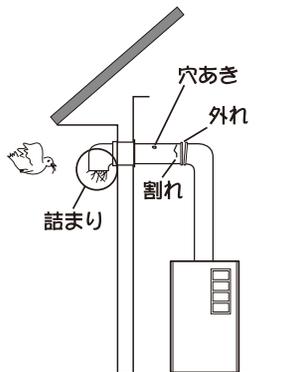
# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

## 危険

### 排気筒の定期点検(屋内設置形のみ)

- 排気筒(トップ)が外れたり、変形・破損・詰まりなどが無い定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



### ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ④お買い上げの販売店、または最寄りのガス業者に連絡する。



### すべての処置が終るまでの間、絶対に

- ・火をつけない
  - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
  - ・電源プラグの抜き差しをしない
  - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



# 必ずお守りください

## 警告

### 機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

### 屋外に設置しない

●雨水の浸入などで、故障の原因になります。



禁止

### このような場合は使用しない

●増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気筒トップを覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

### 給気口・排気筒トップの前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

### 換気注意

●換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない。不完全燃焼の原因となります。  
●機器を使用の際は台所や脱衣室などの換気扇を使用しない。一酸化炭素中毒の原因となります。



禁止

### ガス接続について

●この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

### 機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

### お子様には十分な注意を

●浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



禁止

### 改造・分解禁止

●絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



分解禁止

### アース必要

●この機器は接地工事(アース)が必要なため、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

### 機器の銘板を確認

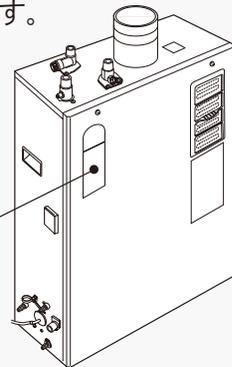
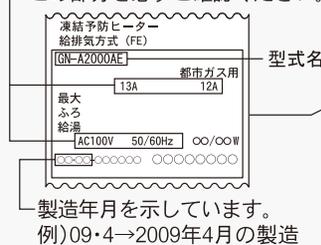
●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。



必ず行う

●転居時の注意は(→P.39)

※図の銘板は都市ガス13Aの場合  
この部分を必ずご確認ください。

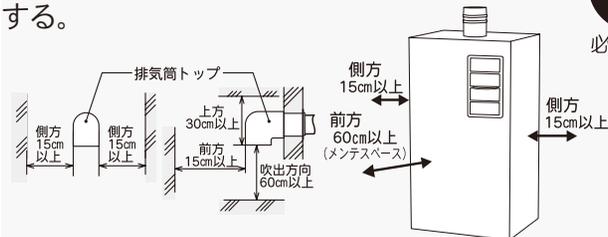


### 火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



必ず行う



●機器および排気筒(トップ)の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。  
●機器および排気筒(トップ)の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。  
●機器および排気筒(トップ)の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



禁止



禁止

### 電源コードの加工禁止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

### 機器本体の高温部に触らない

●使用中または使用後しばらくは、排気筒(トップ)付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

### 電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

# 必ずお守りください

## 警告

### 異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
- ①給湯栓を閉じる。
  - ②運転スイッチを「切」にする。
  - ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
  - ②「故障かな?と思ったら」(→P.36~38)に従って処置をする。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



## 注意

### 用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

### ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

### 空だき防止

- 追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽の上部循環口(循環口が一つの場合はその循環口)より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。

### 給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
  - ・お湯を再使用するとき
  - ・給水圧が下がったとき
  - ・お湯の量を急に少なくしたとき
  - ・機器が故障したとき
- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- 給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだし時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



### 電源プラグのほこりなどは定期的に取り

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

### 給気フィルターの詰まり

- 給気フィルターは物などでふさがらない。また、ゴミやほこりなどでふさがれていないか確認する。確認を怠ると不完全燃焼の原因になります。

### 循環口について

- 上部循環カバーを外したりしない。浴槽の湯が循環不良で局部的に高温となり、やけどのおそれがあります。

### オーバーフロー接続口から排出される水について

- オーバーフロー接続口から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。

### 給排気筒トップに指や棒を入れない

- 故障やけがの原因になります。小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

# 必ずお守りください

## ⚠ 注意

### 電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



### 水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。



## お願い

### 市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

### リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいらずにしないよう注意してください。

### 通水使用の禁止

- 運転**スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

### 断水するとき

- 給湯栓を閉じ、リモコンの**運転**スイッチを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

### 飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

### 入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



### 雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



### 雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

### 凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.27)に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは「凍結してしまったとき」(→P.30)に従って処置をしてください。

### 電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

### 停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの現在時刻設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かしているときに停電になると、風呂自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、「沸かし直しをするには」(→P.14)の操作を行ってください。

# 必ずお守りください

## お願い

### 日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.33)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。

### ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

### 特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

### 入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

### スプレー使用禁止

- 機器の近くでシリコン系スプレーを使用しないでください。故障の原因になります。

### この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

### 長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P.28)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

## お願い 設置する場所や状況について

### 設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

### 排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

### 給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

### ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

### 塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、オーバーフロー排出配管は除きます)

### 地下水や井戸水の注意および温泉水使用不可

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質\*を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいる為、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。  
※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/l以下・pH7~8・遊離炭酸4mg/l以下が望ましい。
- 温泉水は使用しないでください。

### 塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

# 各部の名称とはたらき

## ■ 機器本体

表

給水元栓

ガス栓

水抜き栓

給水口フィルター(→P.39)

リモコン接続端子

水抜き栓

機器の水を抜くときに外します(→P.28)

電源プラグ、電源コード

浴室リモコン 別売選択必要品

FC-660A-W

台所リモコン 別売品

MC-660A-W

増設リモコン 別売品

SC-630

排気筒

排気ガスを出します

水抜き栓

機器の水を抜くときに外します(→P.28)

給気フィルター

給気口

フロントカバー

オーバーフロー口

リモコンコード 別売品

※浴室リモコンコードは、付属されています。

裏

追いだき行き接続口

追いだき戻り接続口

## ■ 浴 槽(別売品)

上部:循環カバー 付属品

下部:循環口フィルター 付属品

循環口フィルター

(循環アダプター 別売品)



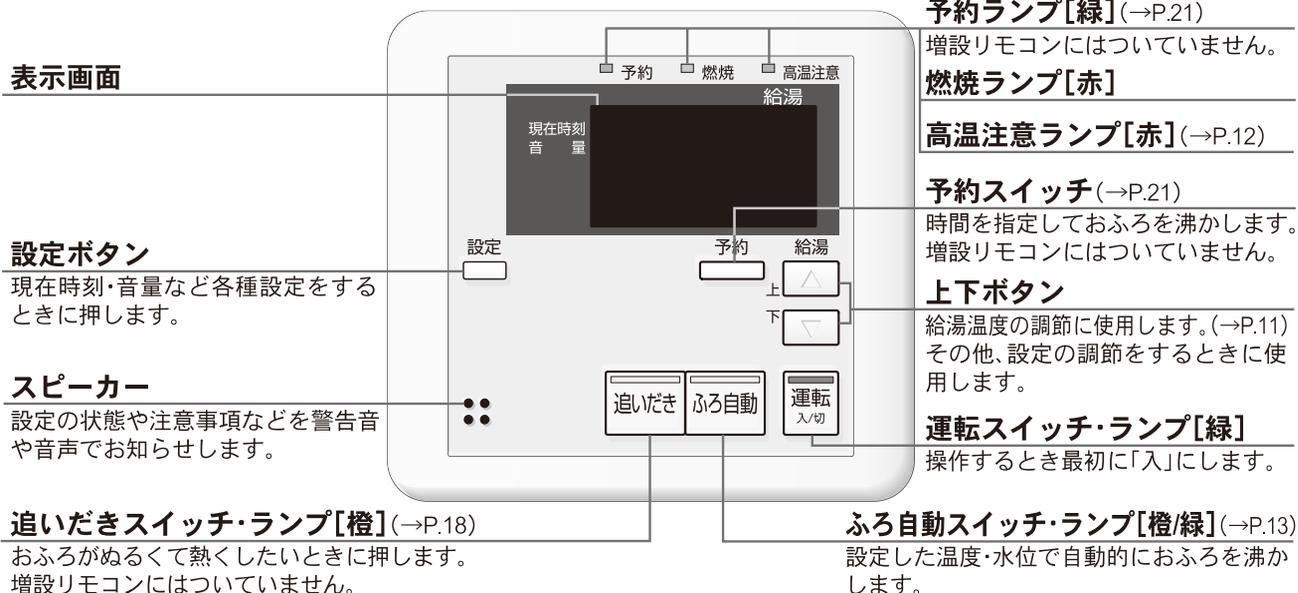
# 各部の名称とはたらき

## ■台所リモコン MC-660A-W(別売品)

台所に設置して使用します。  
給湯温度の設定や、ふろ自動・追いだき・予約運転などの操作ができます。

## ■増設リモコン SC-660-W(別売品)

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。  
給湯温度の設定や、ふろ自動運転の操作ができますが、追いだき・予約運転は操作できません。



### □表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

#### 現在時刻表示

現在時刻を表示します。

#### 予約時刻表示

お風呂が沸く時刻を表示します。

#### 省電力表示

省電力設定時に表示します。



#### 予約表示

予約が「入」のとき表示します。

#### 給湯温度表示

給湯温度を°Cで表示します。

#### 優先表示

台所リモコンが優先のとき表示します。

# ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

## ■機器の準備

1

機器や機器周辺の点検・確認を行います(→P.33)

2

給水元栓を全開にします

機器の下部にあります。

3

給湯栓を開けます

水が出ることを確認したら閉じます。

4

ガス栓を全開にします

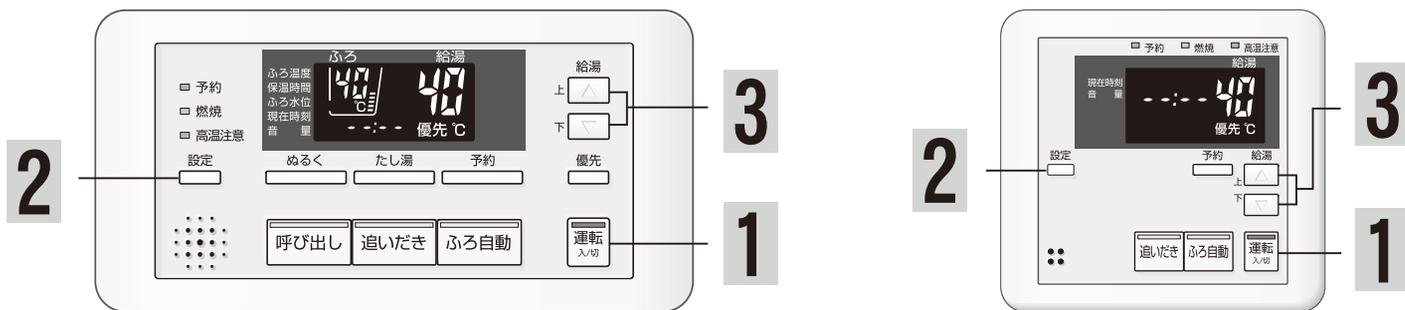
機器の下部にあります。

5

電源プラグをコンセントに差し込みます

機器周辺にあります。

# ご利用前の準備



ご利用の前に

## ■現在時刻を合わせる

現在時刻合わせは、浴室・台所・増設のいずれかひとつのリモコンで操作します。ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> を押して「入」にします		“現在時刻をセットしてください”
<b>2</b> を現在時刻の右に  が表示するまで押します		“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
<b>3</b> 上  または下  を押して現在時刻を設定します  現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します	  	“現在時刻、セットされました”



- 電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコンの画面上に が表示されます。表示が消えるまで、約40秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから **運転** スイッチを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「--:--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、**運転** スイッチを「入」にするたびに“**現在時刻をセットしてください**”と音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50°C以上に設定していた場合には“**熱い温度にセットされました 注意してください**”の音声ガイドも続けて流れます。
- 設定時にはAM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- 設定時に上 または下 を押さないまましばらくたつと確定となりますが音声ガイドは流れません。

# お湯を使うには

お風呂のシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。



2

1

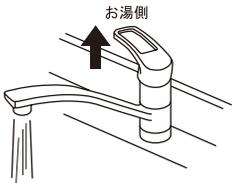
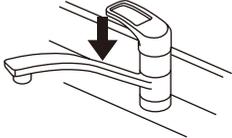


2

1

## ■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先が表示されているリモコンで操作できます。ここでは、台所リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b>  の点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、  を押します。
<b>2</b> 給湯温度を変更する場合は <b>優先</b> の点灯を確認して 上  または下  を押します		温度変更ができない場合は <b>優先</b> の点灯を確認します。 (→P.12)  ※給湯温度を変更すると、各リモコンの給湯温度表示も同様に変わります。
<b>3</b> 給湯栓を開けます  		各リモコンの燃焼ランプが、点灯します。
<b>4</b> 給湯栓を閉じます  		各リモコンの燃焼ランプが消灯します。  ※ただし、他の給湯栓を使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

**警告** ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

### ●ご注意ください

- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、**リセット操作**(→P.38)をしてからご使用ください。
- ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されますが、ふろ自動運転やたし湯を待機させて給湯温度で出湯する設定もできます。(→P.26)

# お湯を使うには

## □給湯温度の目安

ご使用の目安 (単位:°C)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
低温 食器洗いなど				シャワー・給湯など					給湯など				高温		

40:工場出荷時

※50°C以上に設定した場合には、高温注意ランプが点灯し、音声が流れます。



▶“熱い温度にセットされました 注意してください”

### ❗ご注意ください

- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。

### ⚠警告

●シャワー使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切替・**運転**スイッチを「切」にしない。行くとシャワーの温度が急変し、危険です。シャワーを使用するときは、必ず浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

### 🙏お願い

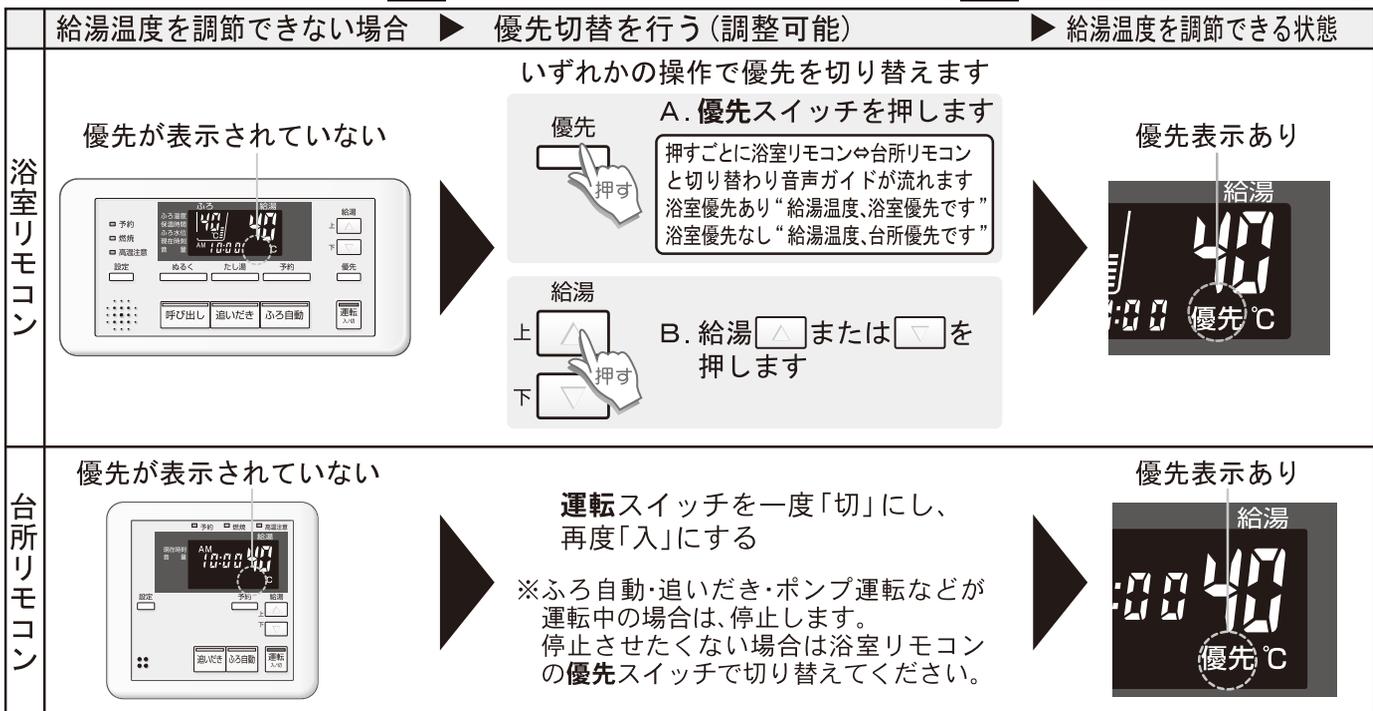
- ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、リモコンの上 $\Delta$ または下 $\nabla$ を押すと“ピッピッピ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使用しているときは、やけど防止のため60°Cには設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。

### ✖モ

- サーモスタット付混合水栓やシングルレバー混合水栓をお使いの場合、給湯栓の機種や構造により、設定温度を「高温」にしても水が混合され、湯温がぬるくなる場合があります。
- ふろ自動運転のお湯張り中や追いだき運転中にお湯を使用すると、給湯栓から出るお湯の量が減る場合がありますが、故障ではありません。

## ■優先切替について

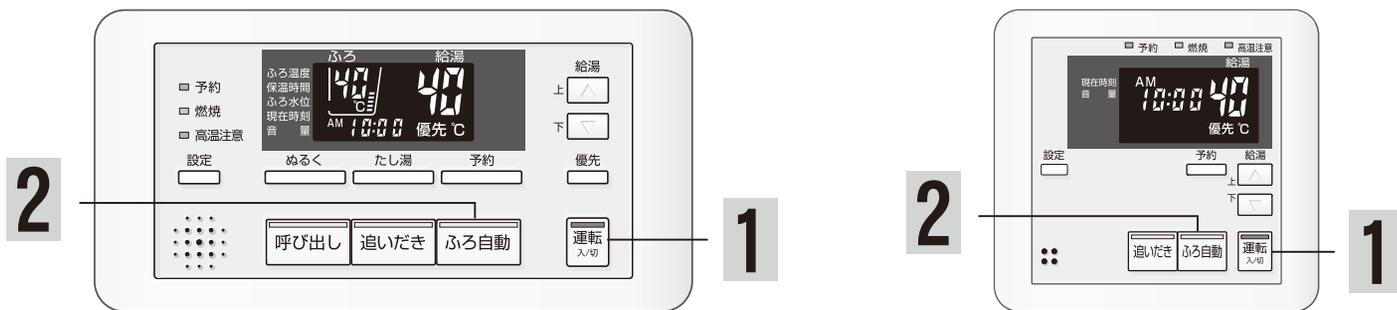
給湯温度を調節できるリモコンの切り替えを「優先切替」といいます。給湯温度は**優先**が点灯しているリモコンで調節できます。**優先**は、下記の手順で切り替えます。



### ✖モ

- 給湯優先切り替え時には、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cにセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切り替え時に、設定温度が50°C以上の場合には“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- 別売の増設リモコンを設置している場合
  - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンにも優先があります。
  - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの**運転**スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。

# 自動でおふろを沸かすには スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。



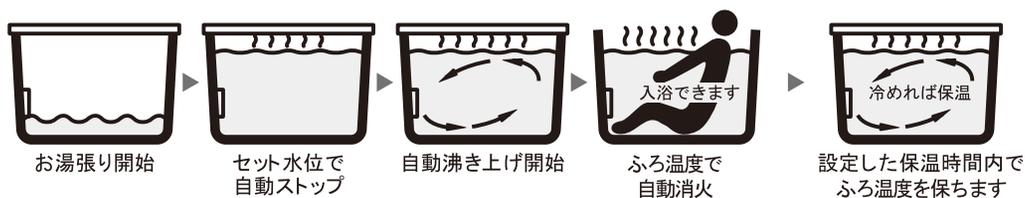
## ■ふろ自動運転をする

ここでは、浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>準備</b> 浴槽の排水栓をして、ふたをします		※初めてご利用される時のふろ温度・保温時間・ふろ水位の確認および変更は(→P.15~16)
<b>1</b> 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
<b>2</b> ふろ自動 を押します ふろ自動運転が始まります		🔊“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか” ふろ自動 [橙]・お湯張り中表示・燃烧ランプが点灯します。 設定水位に近くなると 🔊“もうすぐおふろに入れます” 設定された温度に沸き上がると 🔊“おふろが沸きました”
おふろが沸き上がると保温に入ります 保温時間内はふろ温度を保つため、定期的に沸き上げます		お湯張り中表示・燃烧ランプが消灯し、ふろ自動 [橙]が[緑]に変わります。 保温時間が終了するとふろ自動 [緑]が消灯します。

**メモ** ●浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドは、優先表示のあるリモコンの給湯温度が50℃以上の場合に“おふろが沸きました”から“熱い温度にセットされました 注意してください”に変わります。

# 自動でおふろを沸かすには



## おふろ沸かしや保温を途中で停止したいときは

ふろ自動運転中に **ふろ自動** を押します。ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

**警告** ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

## ご注意ください

●以下の場合には“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。

1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
2. 残り湯があってふろ自動運転を行ったとき。

●自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。「沸かし直しをするには」(→下記)をご覧ください。再度おふろを沸かし直してください。

●浴槽の湯(水)を排水する際は、必ずふろ自動運転が終了(ふろ自動ランプが消灯)していることを確認してください。ふろ自動運転が終了していない場合は、**ふろ自動**スイッチを「切」にしてください。



●給湯優先にしている場合は、給湯・シャワーを使用している間、ふろ自動運転のお湯張りが止まります。(→P.26)

●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼ランプがついたり消えたりすることは異常ではありません。

●保温時のおふろ沸かしの間隔は、気温等により約15～30分の間隔で行います。

## 沸かし直しをするには

ふろ自動運転をする(→P.13)の**1**から**2**と同じ操作で行います。

また、**追いだき運転をする**(→P.18)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれに注意してください。



・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯が設定水位付近のときは**追いだき運転をする**(→P.18)と同じ操作で行ってください。残り湯が設定水位付近でふろ自動運転を行うとあふれるおそれがあります。また、追いだき・たし湯中は循環口から高温の湯が出ることがありますので、ご注意ください。



・残り湯と設定温度の差が少ない(約5℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、**たし湯**スイッチを押してたし湯してください。

# ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには



## ■ふろ温度の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明																																
<p><b>1</b> 設定 <input type="text"/> をふろ温度の右に◀が表示するまで押します</p> <p>ご使用の目安(単位:°C) <span style="float:right">40:工場出荷時</span></p> <table border="1"> <tr> <td>33</td><td>34</td><td>35</td><td>36</td><td>37</td><td>38</td><td>39</td><td>40</td><td>41</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>45</td><td>46</td><td>47</td><td>48</td> </tr> <tr> <td colspan="4">低温</td> <td colspan="4">ぬるい</td> <td colspan="4">標準</td> <td colspan="4">あつい</td> </tr> </table>	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	低温				ぬるい				標準				あつい					<p>🔊 “ふろ温度です 上下ボタンで入力してください”</p> <p>ふろ温度が点滅します。</p>
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48																			
低温				ぬるい				標準				あつい																						
<p><b>2</b> 上 <input type="button" value="▲"/> または 下 <input type="button" value="▼"/> を押してふろ温度を変更します</p> <p>ふろ温度変更後、しばらくたつと確定します</p>		<p>🔊 “ふろ温度、セットされました”</p>																																

## ■保温時間の設定

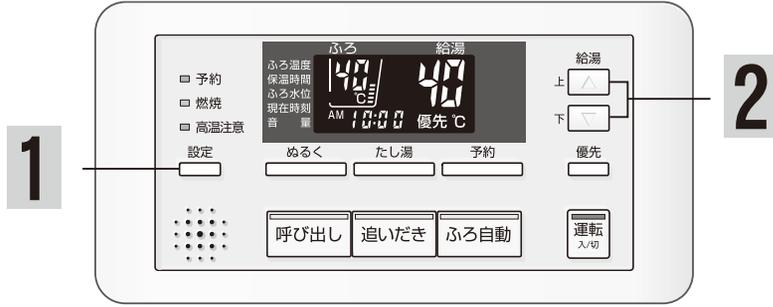
浴室リモコンで操作します

操 作	操作後の画面	説 明									
<p><b>1</b> 設定 <input type="text"/> を保温時間の右に◀が表示するまで押します</p> <p>保温時間(単位:時間) <span style="float:right">4:工場出荷時</span></p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> </table>	0	1	2	3	4	5	6	7	8		<p>🔊 “保温時間です 上下ボタンで入力してください”</p> <p>保温時間が点滅します。</p> <p>※保温しない場合は、“0”に設定してください。</p>
0	1	2	3	4	5	6	7	8			
<p><b>2</b> 上 <input type="button" value="▲"/> または 下 <input type="button" value="▼"/> を押して保温時間を変更します</p> <p>保温時間変更後、しばらくたつと確定します</p>		<p>🔊 “保温時間、セットされました”</p>									

## ⚠️ご注意ください

- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合や設定温度より高い湯温となる場合があります。

# ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

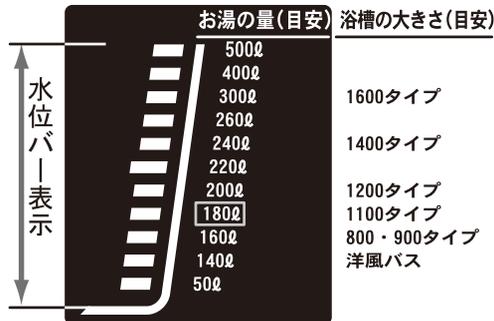


## ■ふろ水位の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
<p><b>1</b> 設定 <input type="button" value="設定"/> をふろ水位の右に <input type="button" value="設定"/> が表示するまで押します</p>		<p>“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください” 水位バーが点滅します。</p> <p>※水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください。</p>
<p><b>2</b> 上 <input type="button" value="上"/> または下 <input type="button" value="下"/> を押してふろ水位を変更します</p> <p>ふろ水位変更後、しばらくたつと確定します</p>		<p>“ふろ水位、セットされました”</p>

ふろ水位の目安  : 工場出荷時



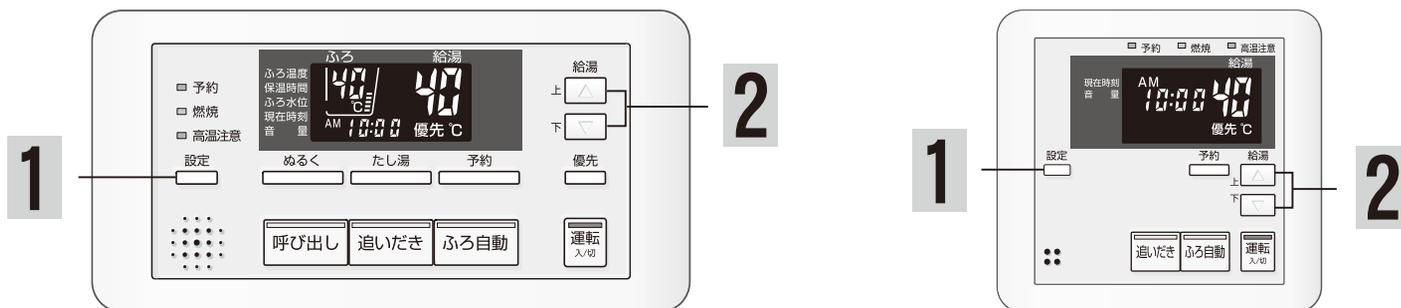
※ふろ水位とは、浴槽に入れるお湯の量のことです。

**お願い** ●浴槽の種類や施工条件・外気温などによって、表示される温度と水位は多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高め設定するとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをおすすめします。

- ×E**
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
  - ふろ自動運転中でもふろ温度・保温時間の設定を変更することができます。
  - 設定時に上  または下  を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

# 音量を変更するには

浴室・台所・増設リモコンで、それぞれ個別に設定することができます。



## ■音量の設定

ここでは台所リモコンで説明します。

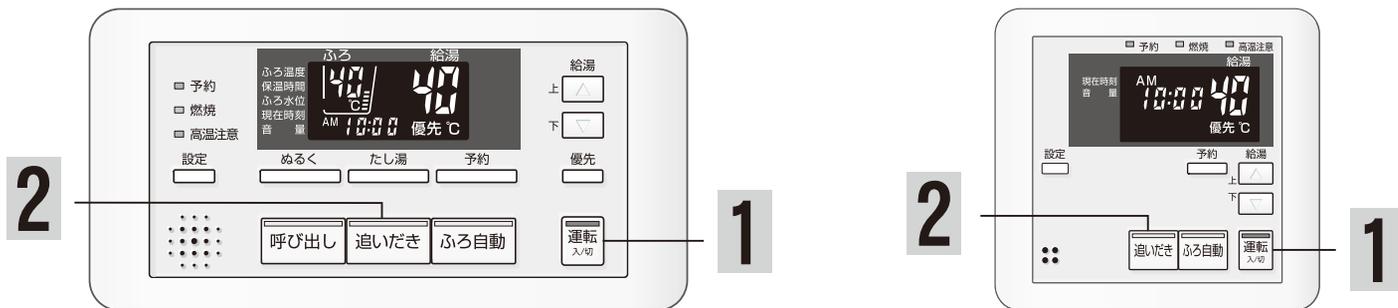
操 作	操作後の画面	説 明				
<p><b>1</b> 設定  を音量の右に  が表示するまで押します</p> <p>音量の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>0(無音)</td> <td>1(小)</td> <td>2(中)</td> <td>3(大)</td> </tr> </table> <p>3(大):工場出荷時</p>	0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)		<p> “音量です 上下ボタンで入力してください”</p> <p>音量が点滅します。 設定されているサンプル音が流れます。</p>
0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)			
<p><b>2</b> 上  または 下  で音量を変更します</p> <p>変更後  を押す、またはしばらくたつと確定となります</p>	 	<p>上下ボタンで入力した音量のサンプル音が流れますので、好みの音量に設定してください</p> <p> “音量、セットされました”</p> <p>現在時刻表示に戻ります。</p>				



- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、呼び出しスイッチが押されたときのチャイムや音声は音量“小”で流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピッピッピ”の音は調整できません。
- 設定時に上 または 下 を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 設定ボタンを順に押して各設定を続けて変更することもできます。設定が終了すると音声ガイドが変更設定した項目についてお知らせします。

# お風呂のお湯を熱くするには

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。



## ■追いだき運転をする

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作できます。ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b>  の点灯を確認します		点灯していないときは、  を押します。
<b>2</b>  を押します		“お風呂を沸かします” 運転が始まると、追いだきランプ・浴室リモコンの循環中表示・燃焼ランプが点灯します。  運転が終了すると、追いだきランプ・燃焼ランプが消え、浴室リモコンの循環中表示も消えます。

### 【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。 (追いだき時の最高温度:50℃) 浴槽の湯の温度が設定したふろ温度より2℃以上低い場合は、設定したふろ温度まで沸かします。
台所リモコンで操作	設定したふろ温度まで沸かします。

### もっと熱くしたいときには

追いだき運転終了後にもう一度、浴室リモコンの  を押します。  
 お好みの湯かげんになったら、 を押して停止してください。

### 追いだき運転を途中で停止するには

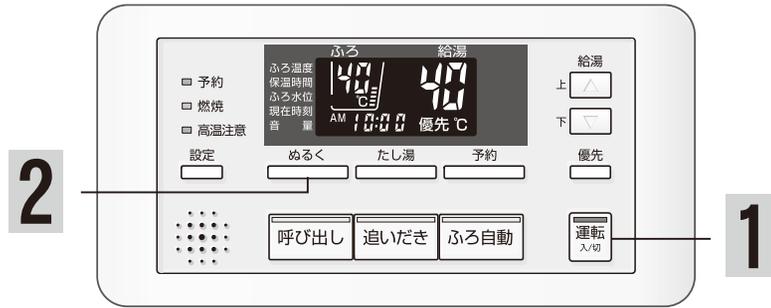
追いだき運転中に  を押します。  
 追いだきランプ・燃焼ランプと浴室リモコンの循環中表示が消灯して、追いだき運転を停止します。

**⚠️注意** ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。

**🙏お願い** ●追いだきスイッチは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に追いだきスイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。(→P.28)  
 誤って押し続けた場合はもう一度追いだきスイッチを押してください。

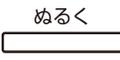
# お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱いときは、ぬるくすることができます。この機能を「ぬるく」といいます。



## ■ぬるく運転をする

自動的に水(約12ℓ)を入れかかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b>  の点灯を確認します		点灯していないときは、  を押します。
<b>2</b>  を押します		<p><b>ぬるく</b>・お湯はり中表示が点灯し、ぬるく運転を開始します。</p> <p>約12ℓの水を入れて、かかはんしてから自動停止します。</p> <p>運転が終了すると、お湯はり中表示・<b>ぬるく</b>が消えます。</p>

### もっとぬるくしたいときには

ぬるく運転終了後にもう一度、 を押します。お好みの湯かげんになったら、 を押して停止してください。

### ぬるく運転を途中で停止するには

ぬるく運転中に を押します。お湯はり中表示・**ぬるく**が消灯してぬるく運転を停止します。

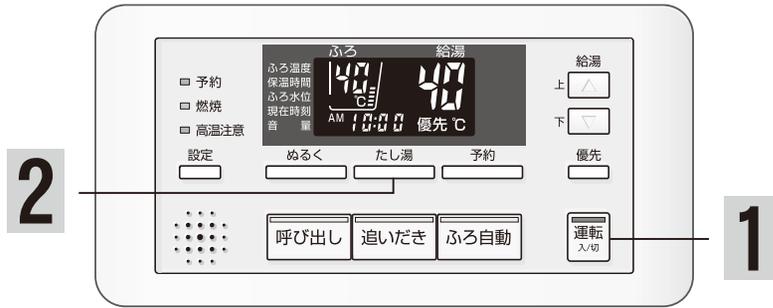
## ! ご注意ください

●ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了すると、ぬるく運転を再開します。



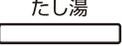
- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- ふろ自動運転の燃焼中や給湯・シャワーの使用中は、**ぬるく**スイッチは使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯を増やしたいときには 浴槽のお湯の量を増やすことができます。この機能を「たし湯」といいます。



## ■たし湯運転をする

自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れかかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b>  の点灯を確認します		点灯していないときは、  を押します。
<b>2</b>  を押します		<p><b>たし湯</b>・お湯はり中表示・燃焼ランプが点灯し、たし湯運転を開始します。</p> <p>約24ℓのお湯を入れて、かかはんしてから自動停止します。</p> <p>運転が終了すると燃焼ランプ・お湯はり中表示・<b>たし湯</b>が消えます。</p>

### もっとお湯を増やしたいときには

たし湯運転終了後にもう一度、 を押します。お好みの湯量になったら、 を押して停止してください。

### たし湯運転を途中で停止するには

たし湯運転中に を押します。燃焼ランプ・お湯はり中表示・**たし湯**が消灯して、たし湯運転を停止します。

## ! ご注意ください

- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワー等を使うときはご注意ください。また、たし湯を待機させ、給湯・シャワーを給湯温度で出湯させる設定もできます。(→P.26)
- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、たし湯時に燃焼しない場合があります。

**お願い** ●**たし湯**スイッチを5秒以上押し続けると、手動配管クリーン運転を始めます。(→P.24) 誤って押し続けた場合はもう一度**たし湯**スイッチを押してください。

**メモ** ●優先の給湯温度を50℃以上に設定してある場合は、たし湯運転終了後チャイムが鳴り“**熱い温度にセットされました 注意してください**”と音声ガイドが流れます。

# おふろが沸く時刻を予約するには

おふろの沸き上がり時間を予約することができます。

予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。  
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓および、ふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(→P.10)
- 予約時刻を確認。(→下記)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(→P.15～16)



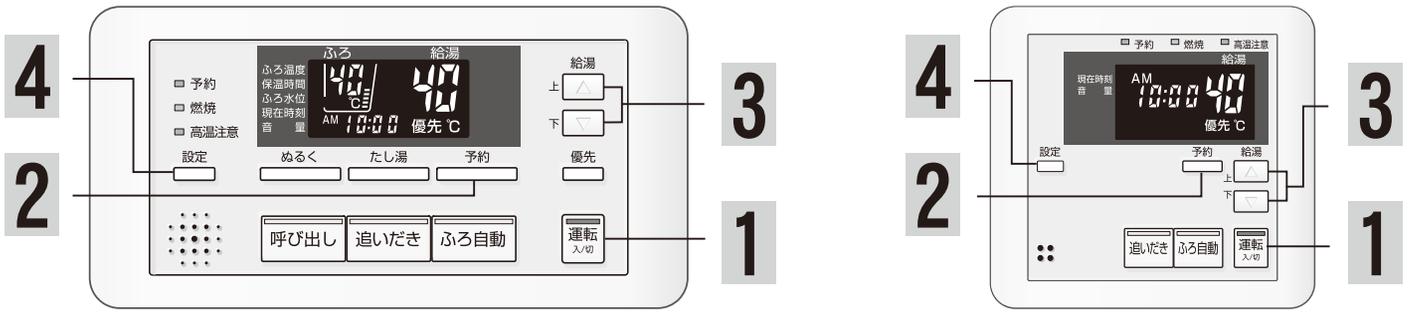
予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

## ■予約運転をする

浴室リモコンと台所リモコンで操作できますが、ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>準備</b> 浴槽の排水栓をして、ふたをします		
<b>1</b> 運転入切の点灯を確認します		運転ランプが点灯していないときは、運転入切を押します。
<b>2</b> 予約 を押します		“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”  予約ランプが点灯します。 予約時刻表示が点滅します。
<b>3</b> 予約時刻を設定します 上△ または 下▽ を押して予約時刻を変更します		予約時刻の変更をしない場合は上△ または 下▽ を押さずにしばらくたつと、予約の確定となります。
<b>4</b> 設定 を押す、またはしばらくたつと確定となります		“予約されました おふろの栓はしましたか”  予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

# お風呂が沸く時刻を予約するには



操 作	操作後の画面	説 明
<p><b>5</b> 予約した時刻にお風呂が沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります</p> <p>お風呂が沸き上がると保温に入ります</p>	 	<p>予約ランプが消灯します。  <b>ふろ自動</b>[橙]・お湯張り中表示・燃焼ランプが点灯します。</p> <p>お風呂が沸き上がると              🔊“お風呂が沸きました”</p> <p>お湯張り中表示・燃焼ランプが消灯し、<b>ふろ自動</b>[橙]が[緑]に変わります。</p>

使い方

**予約運転を解除したいときは** ※リモコンの**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます。

- 予約ランプが点灯している場合→ **予約**を押します。  
 🔊“予約、解除されました”  
 予約ランプが消えて予約が解除されます。
- お風呂沸かしが始まっている場合→ **ふろ自動**を押します。  
 ふろ自動ランプが消えて運転が停止します。



- 変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- リモコンに予約表示が表示されたあとは、**運転**スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また、予約ランプの点灯中は**運転**スイッチ「入」/「切」に関係なく、**予約**スイッチを押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まり、再通電したあとは現在時刻を合わせた(→P.10)後、再度**予約**を押してください。(予約の操作には現在時刻の設定が必要です)

# 省電力機能について

5分以上何も操作しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



## ■省電力モードの解除

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> の点灯を確認します <b>省電力</b> があることを確認 します		点灯していないときは、 を押し ます。 省電力モード中の場合は、リモコ ンの画面を表示して確認します。 ※工場出荷時は省電力「入」になって います。
<b>2</b> 浴室リモコンの  を5秒 以上押し続けます		“省電力、解除されました” 各リモコンの <b>省電力</b> が消えます。

## ■省電力モードの設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> の点灯を確認します <b>省電力</b> がないことを確認 します		点灯していないときは、 を押し ます。
<b>2</b> 浴室リモコンの  を5秒 以上押し続けます		“省電力、セットされました” 各リモコンに <b>省電力</b> が表示します。 運転スイッチの「入」「切」に関 係なく、5分以上操作がない場合、 画面表示が消えます。

省電力モード中に画面を表示させるには  
各スイッチ(呼び出しを除く)およびボタンを押すと表示します。

❗ご注意ください

右図のスイッチは、押すと画面が表示する  
と同時に、運転が開始します。

追いだき

ふろ自動

リモコン操作をしなくても  
こんな場合は表示します

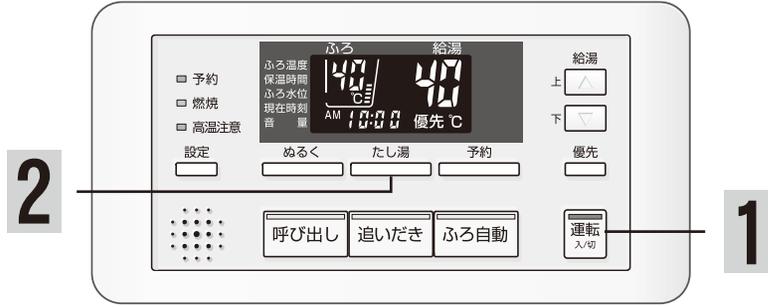
- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中(保温を含む)

**お願い** ●省電力モード中で画面が消えているときに給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を  
確認してからご使用ください。

**メモ** ●呼び出しスイッチは、画面が消えている状態のまま操作できます。

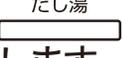
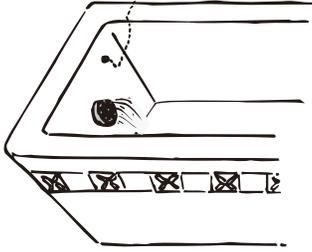
●省電力モードは運転スイッチの「入」「切」では解除できません。

# 知っていると便利な機能



## ■手動配管クリーンをする

追いだき配管内の残り湯をきれいなお湯で流し出す機能です。浴室リモコンで操作します。

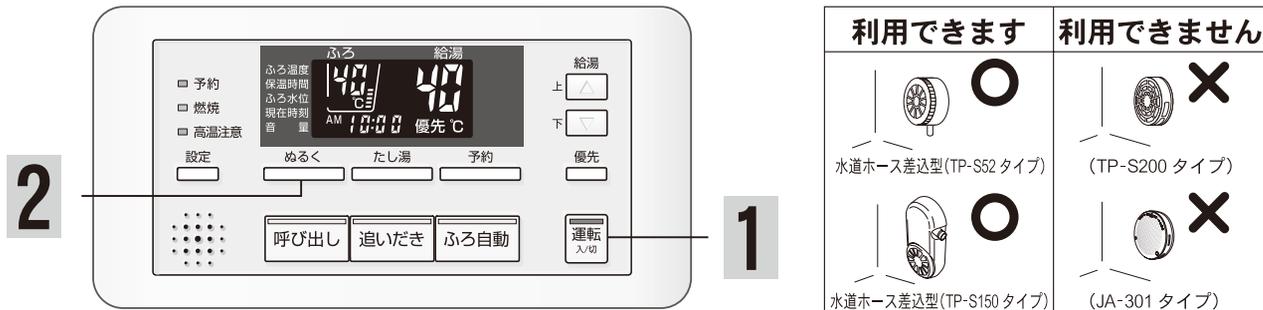
操 作	操作後の画面	説 明
<p><b>1</b></p> <p> の点灯を確認します</p>		<p>点灯していないときは、 を押します。</p>
<p><b>2</b></p> <p> を5秒以上長押しします 手動配管クリーンを開始します</p>	  	<p> とお湯はり中表示・燃烧ランプを点灯します。 6ℓのふろ温度設定のお湯を1分弱で流し、自動停止します。 終了すると画面の とお湯はり中表示・燃烧ランプが消えます。 ※手動配管クリーン動作中に給湯やシャワーを使用すると、動作を終了します。</p>

使い方

### 手動配管クリーン中に停止するには

 を押します。画面表示が通常に戻り、手動配管クリーンが停止します。

# 知っている则便利な機能



利用できます	利用できません
 水道ホース差込型(TP-S52タイプ)	 (TP-S200タイプ)
 水道ホース差込型(TP-S150タイプ)	 (JA-301タイプ)

## ■ポンプ運転をする

浴槽の残り湯を、洗濯機などに注水することができる機能です。水道ホース差込型(TP-S52・TP-S150タイプ)の循環口が取り付けられている浴槽でのみ、利用できます。浴室リモコンで操作します。

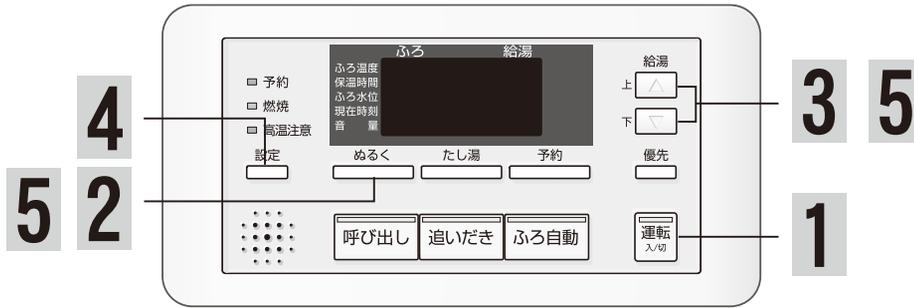
操 作	操作後の画面	説 明
<b>準備</b> 残り湯の水位が循環口より上にあることを確認し、循環口のホース差込み口にビニールホース(内径15mm)を差し込みます		※ホースは5mまでとしてください。
<b>1</b> 運転入切の点灯を確認します		点灯していないときは、運転入切を押します。
<b>2</b> ぬるくを5秒以上長押しします ポンプ運転を開始します	 	☑と循環中表示を表示します。浴槽のお湯が循環口付近となるか、一定時間(約15分)が経過すると自動停止します。  終了すると、☑と循環中表示が消えます

### ポンプ運転を途中で停止するには

ぬるくを押します。☑と循環中表示が消え、ポンプ運転(注水)が停止します。

**お願い** ●水道ホース差込型(TP-S52、TP-S150タイプ)を取り付けている場合でも、条件によっては利用できない場合があります。

# 機能の設定を変更する



## ■ふろ待機設定をする

お湯張りやたし湯中でも給湯・シャワーを給湯温度で使用できるようにします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> の消灯を確認します		運転ランプが点灯しているときは、 を押して「切」にします。
<b>2</b> を“ピッ”と鳴るまで(2秒以上)長押しします		が点滅します
<b>3</b> 上  または下  を押して  を選択します  を押します	  	→ ふろ優先(工場出荷時) → 給湯優先  “セットされました”
<b>ふろ優先</b>	ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯の同時使用が可能です。給湯・シャワーはふろ温度で出湯します。	
<b>給湯優先</b>	ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯が一時中断(待機)します。給湯・シャワーは給湯温度で出湯します。	



●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

# 冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。



**注意**

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

## ■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温 -15℃、有風5m/秒程度まで)

### 機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環(ポンプ運転)して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。



- 凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

### 浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- 浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

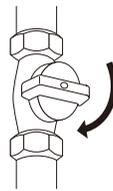
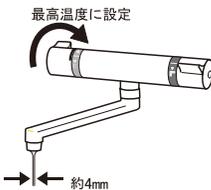


- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**スイッチを「入」にしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、**給湯栓の水を流す方法**または、**機器の水を抜く方法**で凍結予防をしてください。

## ■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操 作		説 明
<b>1</b>	 を押してリモコンを「切」にします	必ず行います。
<b>2</b>	ガス栓を閉じます 	
<b>3</b>	浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます 	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

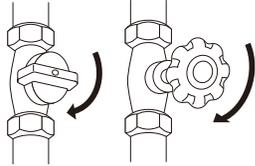
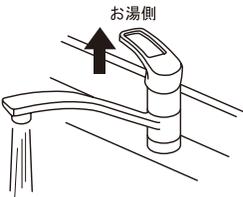
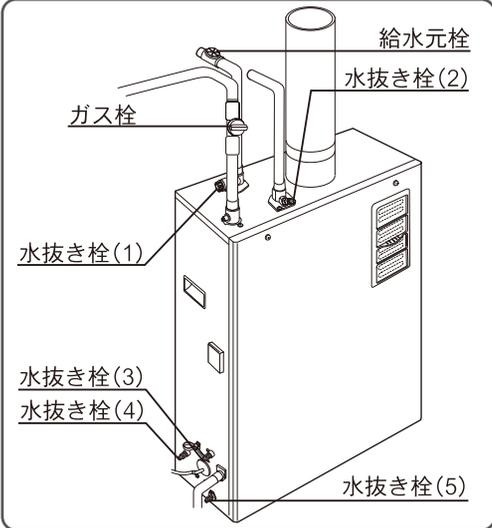
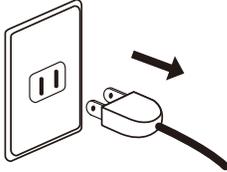


- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、**運転**スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

# 冬期の凍結予防をするには

## ■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

操 作	説 明
<p><b>1</b> ガス栓と給水元栓を閉じます</p> 	<p>機器の上部にあります。</p>
<p><b>2</b> 浴槽の水を完全に排水します                      運転スイッチ「入」を確認し、                      追いだきを5秒間押し続けます</p> 	<p>※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。</p>
<p><b>3</b> すべての給湯栓を全開にします</p> 	
<p><b>4</b> 水抜き栓(1)(2)(3)(4)を外します                      水抜き栓(5)を水が出るまでゆるめます</p> 	
<p><b>5</b> 必ず電源プラグを抜きます                      水抜き栓からの排水を確認し、                      すべての水抜き栓を元どおりに取り付けてください</p> 	

**⚠️注意** ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

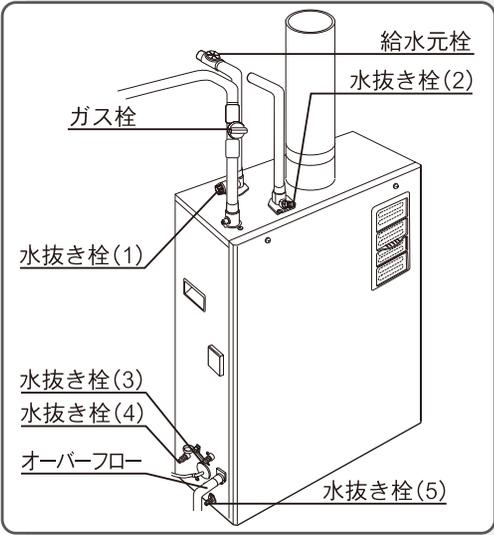
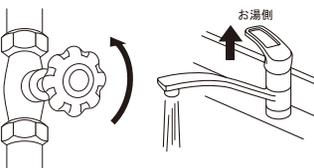
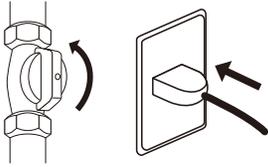
**🙏お願い** ●水抜きをするとき、床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。  
 ●水抜きをした後は、浴槽へ水を流しこまないでください。

長くお使いいただくために

# 冬期の凍結予防をするには

## ■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

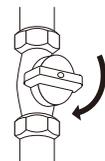
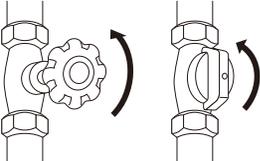
操 作	説 明
<p><b>1</b> 水抜き栓(1)～(5)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します</p>	
<p><b>2</b> 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します</p>	 <p>給水元栓は機器の上部にあります。水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。</p>
<p><b>3</b> ガス栓を開け、電源プラグを差し込みます</p>	 <p>ガス栓は機器の上部にあります。電源プラグは機器の周辺にあります。</p>
<p><b>4</b> リモコンの現在時刻を設定します(→P.10)</p>	
<p><b>5</b>  を押し、ふろ自動運転を行います 浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください)</p>	 <p>※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。</p>

**お願い** ●再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

# 冬期の凍結予防をするには

## ■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待ち、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
<b>1</b> ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
<b>2</b> 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
<b>3</b>  を押してリモコンを「切」にします 	
<b>4</b> ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます 	給水元栓は、機器の下部にあります。
<b>5</b> 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます 	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
<b>6</b>  を押し、リモコンを「入」にします ふろ自動運転を行い、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認します 	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。

**お願い** ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

長くお使いいただくために

# 長期使用製品安全点検制度

## ■長期使用製品安全点検制度について

この製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。

●特定保守対象製品には「特定保守製品」と記載された定格銘板、または銘板が製品に貼り付けられています。  
(→P.2)

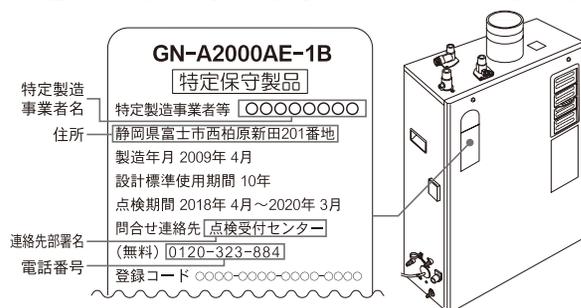
●特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)』として指定された製品です。

## ■法定点検(有料)について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。(消安法第32条の14) この製品に表示してある点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに(年1回程度)点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。

また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

- この製品の点検期間は右図のように表示しています。
- この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。  
点検期間には忘れずに法定点検(有料)をご依頼ください。



## ■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。(消安法第32条の8第1項および第2項)

下記、所有者登録の方法をご覧になり、いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。変更のご登録をしない場合は点検通知が届きません。

所有者登録情報に関するお問い合わせは「■法定点検の連絡先について」(→P.32)をご覧ください。なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

### 所有者登録の方法

以下のいずれかの方法で登録を行います。

#### 所有者票(返信はがき)で登録する

●添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。



#### インターネット(パソコン)で登録する

●ホームページ(<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>)へアクセスし、画面の案内に従って登録をお願いします。



#### モバイル(携帯電話)で登録する

●添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票(返信はがき)またはインターネット(パソコン)での登録をお願いします。



※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしておりません。

### 法定点検通知について

●法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。(消安法第32条の12) 通知は弊社から、はがきにて送付します。

●法定点検に関するお問い合わせは、「■法定点検の連絡先について」(→P.32)をご覧ください。

# 長期使用製品安全点検制度

## ■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

### 設計標準使用期間とは

標準的な使用条件(下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照)の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。(消安法第32条の3) 無償保証期間とは異なります。

### 設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、給湯部については、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」に従い、ふろがま部については、JIS S 2072「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件					
家族構成	4人世帯	使用日数/年	365日	電源電圧/周波数	100V(50Hz/60Hz)
給湯部	用途	洗面・台所・湯張り・シャワー	給水温度	15℃	
	季節	中間期(春、秋)	出湯温度	40℃	
	気温/湿度	20℃/65%	1日使用量	456ℓ	
			1日使用時間	1時間	
ふろ部	沸かし直し回数/週	1回(40℃)	浴槽の標準水量	180ℓ	
	保温(追いだき)/日	3回(40℃)			

## ! ご注意ください

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境(高温・多湿・寒冷地・海岸近辺(塩害地域)・高地(海拔1,000m以上)・温泉水・井戸水・地下水使用など)などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

## ■法定点検の連絡先について

所有者登録情報の変更・法定点検に関するお問い合わせ・法定点検の点検作業のご依頼

点検受付センター お問い合わせ先(無料): 0120-323-884 受付時間/年中無休 9:00~17:00

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、点検受付センターへお問い合わせください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国のサービス店で対応いたします。また、ホームページ(<http://www.purpose.co.jp/>)からもご確認いただけます。

## ■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下の通りです。

部 品	保 有 期 間	部 品 内 容 (部 品 名)
点検に係わる整備用部品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・温度検出サーミスタ・COセンサ・給気フィルター
補修用性能部品	10年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

長くお使いいただくために

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■点検のポイント(月1回程度)

次の11のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？  
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？  
排気筒トップから黒いススが出ていたり、ススで黒く汚れていたら使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。
- 5 機器のまわり、および排気筒(排気筒トップを含む)のそばに燃えやすいものはありませんか？  
また、整然とされていますか？  
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 積雪や屋根から落ちた雪により排気筒トップがふさがれていませんか？  
排気筒トップがふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気筒トップをふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 7 排気筒(排気筒トップを含む)の損傷や詰まり、外れてはいませんか？
- 8 給気フィルターにごみ・ほこりが詰まっていますか？
- 9 給気フィルターの変形・破損はありませんか？
- 10 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？
- 11 給気フィルターが物などでふさがれていませんか？



### 長年ご使用の場合、こんな症状が出ていませんか？

毎日、普通に使用している給湯器も5年、10年と長期間のご使用により、ちり・ほこりや羽虫などが少しずつ内部部品に詰まり、初期性能を発揮できなくなったり、さまざまな不具合を生じることがあります。今お使いの機器を安全にご使用いただくために、状態を確認して次のような症状がみられる場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

- ①最近、シャワーなどお湯の温度がいつもよりぬるくなったと感じた。
- ②高温にセットしても、高温のお湯が出ない。  
※常に40℃前後でご使用のお客様は、月に1回程度高温にセットして、高温のお湯が出ることを確認してください。
- ③お湯が熱くなったり、ぬるくなったりする。
- ④給湯器の排気口から煙が出ていたり、変なおいがある。
- ⑤給湯器の排気口の周りが黒くなっている。

## ■お手入れのしかた(月1回程度)

### 機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。  
変色・変形する場合があります。



**警告** ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

### ●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。  
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

**お願い** ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■給気フィルターの掃除(こまめに掃除)

給気フィルターは月に一度は必ず掃除してください。給気フィルターにほこりやゴミが詰まると、リモコンの表示画面にアラーム番号“050”が点滅します。

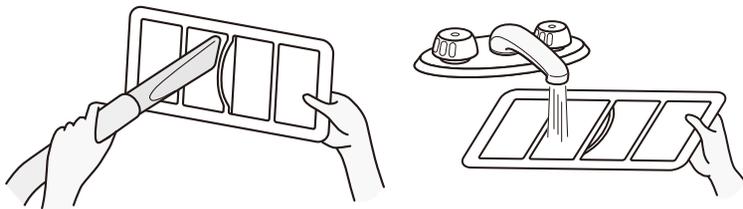
**1** 運転スイッチを押して運転を「切」にします



**2** フィルターを外します  
上にずらして手前に引くと外れます。



**3** ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします  
油汚れのひどいときは、台所用中性洗剤で洗ってください  
※洗剤は、よく洗い流してください。



**4** 元どおりに取り付けます  
給気フィルターが濡れている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。  
運転スイッチを「入」にして、再使用してください



給気フィルターがきちんと装着されていないときは、機器を使用できません。

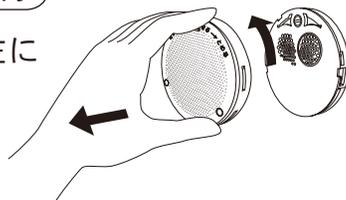
❗ ご注意ください ※運転スイッチを「入」にしたときリモコンの表示画面にアラーム番号“140”が点滅します。運転スイッチを「切」にして、再度装着し直してください。

## ■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

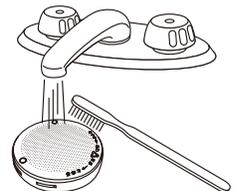
### 循環口フィルターの外し方

循環口フィルターを、左に回して手前に引きます。



### 循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。  
掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。



## ❗ ご注意ください

●給気フィルターのお手入れの際には、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。

**お願い** ●給気フィルターをシンナー・ベンジン・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。

●給気フィルターを外したままでは使用できません。また、濡れたまま取付けて使用しないでください。故障の原因となります。

●給気フィルターのアミの破れ、変形、破損のときは、お買い上げの販売店でお求めください。

●循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。

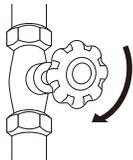
循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

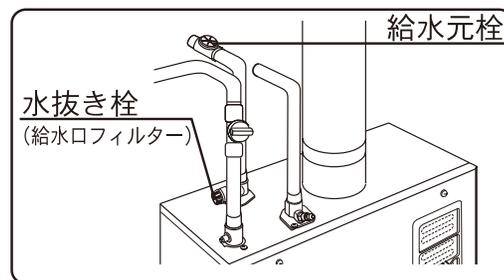
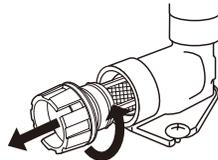
## ■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

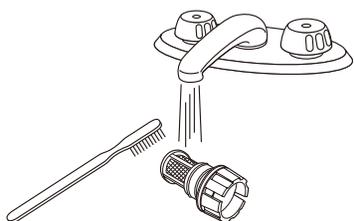
### 1 給水元栓を閉じる



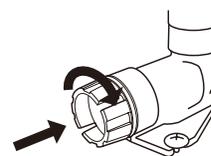
### 2 水抜き栓を外す



### 3 歯ブラシなどで洗う



### 4 元のように取り付ける



#### お願い

●給水口フィルターを外すと水が出ます。

水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

●再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

## ■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、**運転スイッチ**を「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。

万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

## ■定期点検のおすすめ(有料)

機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。

点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

## こんなとき

## ここを調べてください

リモコンの画面に  
表示が出ない

省電力モード中ではありませんか (→P.23)  
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.9)  
停電していませんか (→P.5)

アラーム番号「032」「252」「562」  
が点滅し、動作しない

給水元栓が全開になっていますか (→P.9)  
断水していませんか (→P.5)  
おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→P.13)  
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.34)

アラーム番号「140」が点滅し、  
動作しない

給気フィルターがきちんと装着されていますか (→P.34)

燃烧ランプが点灯しない  
お湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→P.9)  
給水元栓が全開になっていますか (→P.9)  
断水していませんか (→P.5)  
給湯栓が十分開いていますか (→P.11)  
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.35)  
浴槽に水が入っていますか(追いだき運転時) (→P.18)  
循環口フィルターが詰まっていますか(ふろ使用時) (→P.34)

高温のお湯が出ない  
低温のお湯が出ない

給湯栓が十分開いていますか (→P.11)  
温度調節は適切ですか (→P.11)  
シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度のセットは適切ですか (→P.15)  
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.34)  
[循環口が2穴タイプの場合]  
上部循環カバーがしっかり取り付けられていますか

浴槽の水が少ない(多い)

ふろ水位のセットは適切ですか (→P.16)  
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.34)

洗濯機に入る残り湯が極端に  
少ない

洗濯機の入水口フィルターの掃除を行ってください  
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.34)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長くお使いいただくために

# 故障かな?と思ったら

## ■こんなときは故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふろ自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 ----- 凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残っている水が(水滴または湯気となって)循環口から出る場合があります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15~30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「ふろ自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
寒い日排気筒トップから白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた後の再通電時は、時刻表示が「--:--」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.10)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは  
お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

# 故障かな?と思ったら

## □アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号が点滅表示し、自動的に運転を停止します。アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

アラーム番号	内容	処置方法	使用状態	アラーム番号	内容	処置方法	使用状態
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット操作	給湯	392	ふろ側自己診断フレイムロッド断線・短絡	リセット操作 修理を依頼する	ふろ自動・追いだし
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	—	422	注湯量センサ異常	修理を依頼する	給湯・ぬるく・たし湯
032	凍結予防水抜き異常	浴槽の排水を確認後リセット操作	凍結予防水抜き時	510	元ガス電磁弁異常		給湯・ぬるく・たし湯
050	給気フィルターつまり警告	給気フィルターを掃除後リセット操作	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	511	給湯ガス電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット操作	給湯・ふろ自動・たし湯	512	追いだしガス電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
112	ふろ側点火不良		給湯・ふろ自動・たし湯	562	注湯電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯
121	給湯側失火		給湯・ふろ自動・たし湯	610	ファン回転故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
122	ふろ側失火		給湯・ふろ自動・たし湯	661	バイパス水制御弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯
130	室内CO異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	700	電装基板異常 ガス比例弁駆動回路異常		—
140	空だき安全装置動作	循環口フィルターの詰まりを確認後リセット操作 修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	711	給湯ガス電磁弁回路不良		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし
	元ガス電磁弁回路異常	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし		712	ふろガス電磁弁回路不良		給湯・ふろ自動・たし湯
252	給気フィルター外れ	給気フィルターが正しく装着されていることを確認後リセット操作	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	721	給湯側プリ・ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯
	ふろ水流スイッチ異常	浴槽の排水栓を確認後リセット操作 循環口フィルターの詰まりを確認後リセット操作		722	ふろ側プリ・ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯
311	出湯温サーミスタ断線・短絡	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯	740	台所リモコン通信異常		—
312	ふろ入サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯	750	浴室・増設リモコン通信異常		—
321	入水温サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯	888	点検時期告知	点検を依頼する	
331	混合温サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯	990	燃焼異常アラーム連続5回	修理を依頼する	
380	COセンサ異常	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだし	991	給湯自己診断燃焼異常	給気フィルターを掃除後リセット操作	給湯・ふろ自動・たし湯	
391	給湯側自己診断フレイムロッド断線・短絡	リセット操作 修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯	992		ふろ自己診断燃焼異常	給湯・ふろ自動・たし湯

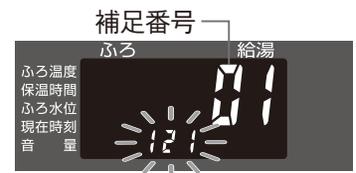
※別売のユニットが接続されている場合、上記以外のアラームがでることがあります。そのときは、ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

**リセット操作** 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

### 【浴室リモコン】

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。

ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



### 【台所リモコン】

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



### 【アラーム番号050,991,992が点滅表示した場合】

- ①窓を開けて十分な換気をしてください。
- ②給湯栓を閉じてください。
- ③給気フィルターが汚れているときは、給気フィルターを外して掃除をしてください。(→P.34)
- ④リセット操作を行ってください。

※それでも、アラーム番号が出る場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

### 【アラーム番号380が点滅表示した場合】

COセンサー異常の場合と耐用時間を超えた場合に点滅表示します。修理を依頼してください。



- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。
- アラーム番号“050”が表示されたときは、まず給気フィルターを掃除してください。(→P.34) それでも同じアラーム番号が表示されたときは、機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

長くお使いいただくために

# アフターサービスについて

## サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.36~38)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買いの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
  - (2)型式名(例) GN-A2000AE  
ガスの種類(例) 13A 12A  
※銘板をご覧ください(→P.3)
  - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
  - (4)訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

## 保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

## BL 認定品について

- BL 認定品には、機器の前面にBL マークの表示があります。
- BL 認定品は、「瑕疵保証」と「損害賠償」のBL 保険付きです。

※BL 認定品についてのお問い合わせは(財)ベターリビング  
TEL:03-5211-0680(お客様相談室)までご連絡ください。

## 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

## アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

## 長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
  - (1) ガス栓を閉じます。
  - (2) 給水元栓を閉じます。
  - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.28)
  - (4) 電源プラグを抜きます。

# 仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容	
品名		GN-A2000AE-1B	
型式名		GN-A2000AE	
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅515×奥行225×高さ768/32	
種類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋内据置形	
	給排気方式	強制通気方式(FE式)	
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
水圧	使用水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm <sup>2</sup> )	
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm <sup>2</sup> )	
接続	ガス	15A(R1/2)オネジ	
	給水・給湯	15A(R1/2)オネジ	
	追いだき往・戻	φ45〔15A(G1/2)オネジ〕	
	オーバーフロー口	15A(R1/2)オネジ	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	
	リモコン側	24V以下	
	消費電力	待機時	4.5W(3.2W:COセンサ分を除く)
		定格	158W/180W
	凍結予防	電気ヒータ給湯側119W 追いだき側33W 同時200W/222W ポンプ運転86W/108W	
電源コード/ リモコンコード		VCT(2心)機外長約2.0m/FMY02-〇〇(2心)	
安全装置		ファン回転検出装置(燃烧ファン) 立消え安全装置(フレイムロッド) 残火安全装置(フレイムロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(ハイリミット) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ、ポンプ運転) 過電流安全装置(電流ヒューズ) 不完全燃焼防止装置(COセンサ)	

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大時)ℓ/min		ガス 接続
	最大	給湯	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市 ガス	13A 54.0{46,500}	42.4{36,500}	11.6{10,000}	20.0	12.5	15A (R1/2)
	12A 50.3{43,300}	39.5{34,000}	10.8{9,300}	18.8	11.8	
LPガス	54.2{3.87kg/h}	42.6{3.04kg/h}	11.6{0.83kg/h}	20.0	12.5	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/cm<sup>2</sup>}のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために





# 商品保証書

## ガスふろ給湯器

品名 GN-A2000AE-1B

お買い上げ日	年 月 日		保証期間 および 保証対象区分	BL認定品	熱交換器	3ヶ年
お客様	ご芳名	様		それ以外 の部分	2ヶ年	
	ご住所					
販売店	店名	電話番号			取扱者	
	住所				印	

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- 万一故障の場合はお買い上げの販売店または、弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
  - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
  - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
  - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
  - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
  - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
  - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結又は暴動等の破壊行為による故障。
  - (チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
  - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
  - (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
  - (ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
  - (ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 商品や修理以外のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

### 弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ) TEL 0120-260-884(通話料金無料) 携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。 受付時間:年中無休 24時間修理受付	点検受付センター(点検受付のみ) TEL 0120-323-884(通話料金無料) 携帯電話からは 0545-32-1389 へおかけください。 受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	お客様相談室(修理・点検以外や 商品のお問い合わせ等) TEL 0545-32-1389 受付 平日 9:00 ~ 19:00 時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00
------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。